

# 報 告 書

(第 1 班)

開催日時	平成25年 1 月 28 日 (月) 午後7時～午後8時45分				
開催場所	小友 町 コミュニティセンター				
	(班長) 小松 眞、(副班長) 菅野 広紀、(司会) 菅野 広紀 (報告者) 及川 修一、(記録者) 松田 信之、(幹事) 伊勢 純 (幹事) 佐々木 一義				
参加者数	24人	意見数(のべ)	27件	アンケート数	件
主な要望 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤の高さは決定したのか。様々な意見があるが、再度検討する考えはないか。</li> <li>・震災時、広田半島が孤立した状況となった。今後孤立しないような計画が必要と考える。アップルロードの高さとも関係するが、早期に孤立を防ぐ対策を講じてほしい。</li> <li>・被災したままの市道が多く残されている。新たなルートでの整備も含め早期の対応を望む。</li> <li>・未舗装の道路が多くある。砂利道で車のパンク等が多発している。直ぐに出来ることからすることも必要と考える。</li> <li>・モビリアから矢野浦海岸に通ずる道がある。災害時などに必要な道路であり、拡幅など整備を要望する。</li> <li>・自己再建により造成中だが、土地に青線が関係している可能性がある。後に調査に来るとしながら、まだ確認がなされていない。</li> <li>・両替漁港について、簡易的でも早期に整備を希望する。</li> <li>・高台への集団移転について、どの程度進捗しているのかなど、情報が不足してわからない。</li> <li>・小友地区内には金融機関がない。郵便局を設置してほしいが、どのような働きかけをすればいいのか。</li> <li>・通学路の側溝に蓋がなく防犯灯なども未整備となっている。過日の津波警報などで避難した際、大変危険であった。</li> <li>・「議会だより」を見るが、良質な紙でなくてよいが内容を厚くするなど、さらなる工夫と改善を望む。</li> <li>・太陽光発電などの設置は、小友地区が適地と考えるがどうか。</li> <li>・ガレキ処理の単価が異なると聴くが調査をしているか。また、処理が終わるとそれで雇用も終了となるのはどうか。</li> </ul>				

<p>所 感</p>	<p>小松 眞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧。復興の進捗状況の情報が少ない、スピードがないと指摘されるが、地域においては日常生活の課題も多く出された。復興事業と同時進行で地域の生活環境の整備も待ったなしの状況にある。</li> <li>・復興計画には異論はないが、議会懇談会の中身として地域毎の報告資料内容に改め、併せて地域課題を汲み上げ地域別計画の青写真に取り組みの時期と感じる。</li> </ul> <p>及川修一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見、要望の内容が矢の浦地区の道路問題などに偏った感があったが、震災で孤立を余儀なくされた同地区の思いが痛いほど伝わるものとなった。</li> </ul> <p>質問が一人の方に集中したことなどがあり、進行の仕方に配慮が求められると感じた。</p> <p>この報告を機に議会への請願となって出されたことなど、住民意思が確認される場ともなって、それなりの意義があったものにとらえる。</p> <p>菅野広紀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「議会だより」の充実を求める意見と参加住民が少ないことについての周知意見が出された。</li> </ul> <p>このことについては、今後の議会の広聴広報の充実を早急に検討すべきと感じた。その中で住民の参加の議会モニター制度等の創設も検討すべき。</p> <p>松田信之</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題として特にも市道の整備を望む意見が多く寄せられ、出来るものから早期に実施すべしとの声のようであった。</li> </ul> <p>佐々木一義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高台移転事業が遅く、仮設住宅から新宅に入れないのではないかと、不安な気持ちで毎日を暮している人が多い。市が進ちよく状況を今以上の頻度でお知らせすることで、市民の方々の安心が得られると思いました。</li> </ul> <p>また、命を守る、被災道路の復旧、避難道路の確保を早急に進めてほしいとの強く要請されました。</p> <p>伊勢純</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友地区は大震災による被災面積が大きかったものと思う。そのために道路環境の改善が必要となっていることを参加者からの発言からあらためて実感した。また、議会報や市広報の情報量を増やして欲しいという意見があり、市民に必要な情報を議会として、議員として、さらに伝えていく必要性を感じた。これは、市内全体で市政への関心</li> </ul>
------------	---

	を高くしていくための積極的なヒントとして生かしていくべきではないかと思った。
--	--

陸前高田市議会議長 殿

平成25年2月18日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成25年度議会報告会第1班

班長 小松 眞 ㊟